

レフェリースクールを開催しました

審判委員会・育成部

☆開催日：2025年1月11日～2月9日(毎週土曜日・日曜日)☆

本年度のレフェリースクールが1月11日から2月9日までの期間、毎週土日連続で実施されました。今回の研修は宿泊研修形式を採用し、実践と座学を組み合わせた充実した内容となりました。



☆研修対象者☆

研修にはカテゴリーC・Bの皆さんを中心に参加申し込みを受け付けました。また、12月の市原招待に参加された一部のカテゴリーDの皆さんにもご参加いただきました。指導者は3級インストラクターを中心に割り当て、さらに指導者にはアドバイザーを割り当てました。審判員は指導者からフィードバックを受け、指導者はアドバイザーからフィードバックを受けることで、審判員・指導者双方のスキルアップを目指しました。

☆宿泊研修の流れ☆

土曜日は県民大会、日曜日は1種選手権の試合を利用しての実践研修を行いました。試合終了後にはフィードバックを実施し、その後宿泊先のホテルへ移動して座学研修を行いました。研修では当日撮影した試合映像を使用し、具体的なケーススタディを通じて理解を深めました。

☆夜間・翌日の研修☆

宿泊者は夕食後も引き続き研修に取り組み、ディスカッションを交えながら審判技術の向上を目指しました。翌朝は朝食後に各自試合会場へ移動し、1種選手権の試合後にフィードバックを実施。実戦を通じた学びと座学を組み合わせたプログラムで、審判技術を総合的に向上させる貴重な機会となりました。



☆参加者の声☆

小松 駿太朗さん

すごく充実した研修会でした。自分の武器となる良い点と、改善すべき点を見つけることができ、多くの方からのフィードバックがより良いレフェリングにつながると感じました。宿泊した週のみならず、割当を含め毎週参加させていただき、非常に良い経験になりました。

まだ主審経験が3試合しかない中で、社会人カテゴリーの試合を担当する機会を得られたことはとても貴重でした。4級で活動を始めてからまだ1年経ちませんが、2級昇級や更なる目標を持つきっかけになりました。ありがとうございました。

安井 光一さん

審判活動として初めて宿泊研修を経験しました。申込案内を見たときに『宿泊』と知り、申し込みを躊躇しましたが、毎年楽しみにしている1～2月の研修だったので、申し込まずに後悔したくないと思い、思い切って申し込みました。

結果として、とても充実した2日間になりました。インストラクターの皆様、一緒に試合を担当して下さった皆様、一緒に研修に参加した皆様には心から感謝しています。この経験を活かし、若い方々に置いていかれないよう頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

中山達良さん

今回の研修は、実践→振り返り→夜の座学→実践→振り返りと、2日間審判漬けの体験ができました。夜の座学では当日の動画を見ながらレフェリング(特に動き出しなど)の理解を深め、すぐ翌日に実践(千葉県天皇杯予選)でチャレンジできたことが良かったです。

これまでのレフェリングでは意識していなかった点に目を向けることで、動き出しだけでなく、目線・体の向き・ポジショニングの課題を実感しました。また、自身の映像を繰り返し確認することで、反省点を洗い出し、今後のレフェリング向上につなげていきたいと考えています。スタッフの皆様には、寒い中1日中ご対応いただき、本当にありがとうございました。

本多太郎さん

宿泊形式の研修会に参加しました。普段は試合会場での短時間の会話が中心になりますが、夜の時間もあるので、より深く充実したディスカッションができました。

試合会場では、他の研修参加者や審判員のレフェリングを見て学ぶだけでなく、自分自身も見てもらうことで、さまざまな意見をいただくことができました。とても貴重な機会となり、今後もぜひ参加したいと考えています。ありがとうございました。

研修会の様子

